

平成30年度会長インタビュー

平成30年4月20日、無事に定時総会が終了し、いよいよ平成30年度がスタートしました。今月の青翔では、第37代北大阪商工会議所青年部の会長になりました茂木一彦君にお話をお聞きし、今年度の意気込みなどを語っていただきました。



第37代会長 茂木一彦

司会：本年度のスローガンからお話をお聞きしたいと思います。

『「VISION」必要とされるYEGへ 共に考え、共に喜び、共に進もう!!』に決められた理由は何ですか？

茂木：会員数350名を超える組織となり、日本YEGでは平成34年度の全国会長研修会の北大阪開催を見据え、地域では地域活性化事業として行われた「枚方市駅前大収穫祭」の核事業である「枚方オクトーバーフェスト」を開催するなど、諸団体から注目される組織へと成長してまいりました。しかしながら、創立30周年時から5年余りで会員数が倍以上となる急成長の組織であり、入会3年未満のメンバーが半数以上を占めるのが現状です。このような状況の中、組織の伝統を守りつつも、どのようにして新しい文化の創造に向かってリスタートしていくべきかを考え、『「VISION」必要とされるYEGへ共に考え、共に喜び、共に進もう!!』をスローガンとして掲げさせていただきました。個人や企業、組織において、成長には必ず明確な「VISION」や

「理念」が必要だと考えます。創立35周年で更新されました北大阪YEG宣言という共通理念を根幹に、YEGメンバー間でお互いを尊重し合い、相互に理解を深めながら、共に考え、共に喜び、共に進んでまいりたいと思い、このようなスローガンを掲げさせていただきました。

司会：12委員会・1事務局にまで拡大した前年度でしたが、その委員会数を約半数に減らされた理由は何ですか？

茂木：北大阪YEGは新入会員の加入数が毎年、増加傾向にあります。組織として会員が増えることは大変喜ばしいことではありますが、各メンバー間の交流の機会が十分に得られていないのが現状です。メンバー数が急増した今こそメンバー間の交流が必要だと考え、本年度は1委員会約50名の構成とさせていただき、委員会の中で十分に交流をしていただきたいと考えました。委員会の開催にはご尽力をいただかなければなりません、各委員会こそがメンバー交流の最良の場と捉えていただき、ビジネスチャンスを広げていただきたいと思えます。

司会：YEGとして、また各委員会として、この大所帯をまとめ同じ方向を向けるために最も重要なことは何だとお考えですか？

茂木：北大阪YEGとして、現在も増加傾向にあり、近い将来400名、500名のメンバーを有する組織になるかもしれません。業界も立場も異なる青年経済人が集まれば、様々な思想や意見があって当然です。その思想や意見をまとめるには明確な「VISION」や「理念」が必要だと考えます。近年、北大阪YEGでは、理事会運営、会則の改訂など様々な改革が行われてきました。そして今後も進化し続けなければなりません。その組織の進化には運営するメンバー自身のスキルアップが大きく作用し、スキルアップの最大の場が委員会運営であると考えています。大勢のメンバーをまとめる委員長はとてご苦労されると思えます。各委員会3名の副委員長の皆さん

にはどうか細やかな協力をしていただき、大勢の委員会メンバーが楽しく集える委員会運営を切にお願いいたします。

司会：北大阪YEGが対外に担う役割は何だとお考えですか？

茂木：我々北大阪YEGのメンバーは、生業を受け継いだ、或いは受け継ぐメンバー、起業したメンバー、経営の中枢で活躍するメンバー等様々な立場で、また多種多様な業種で活躍する青年経済人の集まりです。業界も立場も異なる青年経済人の集団であるからこそ様々な意見や思いが集約できる場でもあると考えます。平成26年度より毎月開催されています「組織活性化プロジェクト」では、北大阪商工会議所職員の皆様と数多くの意見交換をする中で意思疎通を図れたことにより、現在では我々の活動や要望に対し、様々なご支援を賜るようになりました。こうした日々の活動を今後も続けていき、会員企業の成長、地域社会の発展のため、提言活動を行っていくことが重要と考えています。日本商工会議所では商工会議所の活動の第一に「この国の明日をつくる政策提言活動」として「商工会議所に求められる最大の役割は、地域の諸問題を解決するため、地域経済社会の代弁者として意見を述べ、民間の力を結集した政策提言・要望活動を積極的に展開し、その実現を図ることです。」と掲げられています。近年、日本YEGや全国の単会でも政策提言活



動が話題に上がるようになってきております。この地域において商工会議所青年部の私たちが「何ができるのか」「何をすべきなのか」を鑑み、今後より一層行政をはじめとする諸団体に必要とされる組織になるよう、提言活動の骨格創りにも着手していくことだと思えます。

司会：男女共にアクティブな会員を増やすことが活性にも繋がると思いますが、どうすれば集まるとお考えですか？

茂木：最近、北大阪商工会議所の事務局に青年部に入会したいとの問い合わせが増えてきました。近年の活動の反響であると考えますが、魅力ある会には自ずと人が集まります。しかしその魅力を保つにはやはり進化し続けることが必要です。目まぐるしく変わる社会環境の中、良いことはより良く、駄目なことは変えていかなければなりません。これまでの例会、事業のブラッシュアップ、そして提言活動など新しい事業に取り組み、多種多様なメンバーの求める要望に沿った事業をひとつでも多く企画実施することが、組織の活性に繋がると考えます。そして活性された魅力ある会には自ずとアクティブなメンバーが集まると思えます。

司会：茂木会長、ありがとうございました。

平成30年度北大阪YEGは茂木会長の熱い思いと共に船出いたしました。皆様も茂木会長と共にアクティブに愉しく活動してまいりましょう。

次回は、北大阪商工会議所 北本会頭と茂木会長との対談を予定しております。どうぞお楽しみに。

北大阪商工会議所 青年部

会員募集

商工会議所青年部【YEG】は
次代の地域経済を担う若手経営者の集まりです。

2018年度スローガン

「VISION」必要とされるYEGへ
共に考え、共に喜び、共に進もう!!

平成30年度会長 茂木一彦

〒573-8585 枚方市大垣内町2-12-27
TEL: 072-843-5163 FAX: 072-841-0173
北大阪商工会議所青年部事務局
http://kitaosaka-yeg.jp/

ご興味のある方は
こちらへ

